

たのしみは①

「短歌」とは

めあて 短歌とはどのようなものかを知り、短歌にしたい場面を決めよう

五・七・五・七・七の三十一音であらわす和歌

三十一音の短い言葉の中に、さまざまな情景や思いをつめて表現するもの。

【やってみよう①】

p61 たちばな あけみ 橘曙覧の短歌を二つ、言葉のリズムに注目をして音読しましょう。

【やってみよう②】

p61 ① 短歌にしたい場面を決めよう。

生活の中のさまざまな場面から、あなたの「たのしみ」を探しましょう。そして、そのときの様子や気持ち^{もち}を細かく思い出し、短歌にしたい場面を決めましょう。

短歌にしたい場面

「たのしいとき」「わくわくするとき」

【例】弟とよく夜空を見ていること

【題材の例】

・今朝、起きてからのこと

短歌にしたい場面

「たのしいとき」「わくわくするとき」

・この一週間のこと

・家の人や友達のこと

短歌にしたい場面

「たのしいとき」「わくわくするとき」

・季節のこと

・衣食住のこと

短歌にしたい場面

「たのしいとき」「わくわくするとき」

・趣味や習い事のこと

・学校での出来事

